

基礎からわかるハイレベル

# ULTRA 小論文

■映像解説つき■

基

礎

編

問題  
&  
解答  
用紙

Understand  
Logic  
TRimming  
Action

ヘルメスゼミ®

## もくじ

### 第 01 講 文章づくりのコツ (単語から文章へ)

【例題】「私の夢」

### 第 02 講 ULTRA 攻略法

【例題】「高齢期をどう迎えるか」

### 第 03 講 Understand (設問と資料の理解)

【例題】「電車やバスの中での飲食・化粧」

### 第 04 講 Logic① (帰納法による論理づくり)

【例題】「日本文化特殊で独特か」

### 第 05 講 Logic② (演繹法による論理づくり)

【例題】「日本文化特殊で独特か」

### 第 06 講 Trimming (序論・本論・結論への整理)

【例題】「ボランティア活動の役割と意義」

### 第 07 講 Action① (内容をどう膨らませるか)

【例題】「グローバル化社会で日本に求められる変化」

### 第 09 講 形式別攻略法① (テーマ型小論文)

【例題】「豊かさの中の貧困」

### 第 10 講 形式別攻略法② (ワード型小論文)

【例題】「教育について考えること」

### 第 11 講 形式別攻略法③ (文章型小論文)

【例題】「現代の家族の変化」

### 第 12 講 形式別攻略法④ (図表型小論文)

【例題】「日本人における男子と女子の家事時間」

### 第 13 講 テーマ学習① (人間とは)

【例題】「人間の創造的思考」

### 第 14 講 テーマ学習② (制度疲労)

【例題】「classroom collapse (学級崩壊)」

### 第 15 講 テーマ学習③ (科学技術)

【例題】「科学技術の発達と制御」



## 【第 1 講（評価基準：100 点満点）】

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	10		設問の要求を満たしているか
	背景	10		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	10		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	10		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価（重要度により減点数値を決定）

得点：                    / 100 点

## 【第 2 講 例題】

次の文章を読み「高齢期をどう迎えるか」について、あなた自身の考えを 600 字以内で述べなさい。

### 《問題文》

日本では戦後、平均寿命が 80 歳にまで延びました。しかし、寝たきりや認知症の問題などもあり、手放しでこの長寿を喜べません。

定年退職の年齢は、大体 60 歳だから、現役引退後の生活は平均して 20 年にも及びます。この時期の過ごし方を、真剣に考える必要があります。

【お名前： \_\_\_\_\_ , ご住所 \_\_\_\_\_ 】


100 字


200 字


300 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


400 字


500 字


600 字

## 【第2講（評価基準：100点満点）】

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	8		設問の要求を満たしているか
	資料	8		資料（問題文）の内容を踏まえていること
	背景	8		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	8		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	8		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の90%以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

得点：                    / 100 点

**【第 3 講 例題】**

最近、電車やバスの中で物を食べたり、化粧をしたりする人が増えています。あなたはこうした行為の原因や影響をどのように考えますか。賛成や反対の意見ではなく、社会現象の一つとして考察し 600 字以内でまとめなさい。

(類題・上智大学)

**【お名前： ，ご住所 】**


100 字


200 字


300 字



ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


400 字


500 字


600 字

## 【第3講（評価基準：100点満点）】

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	10		設問の要求を満たしているか
	背景	10		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	10		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	10		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の90%以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

得点：                    / 100 点

**【第 4 講 例題】**

「日本文化は世界の文化の中でも他に似た例を見ないほど特殊で独特な文化である」という考え方についてあなたは賛成ですか、それとも反対ですか。①「賛成」または「反対」の論を記した上で、②あなたがそう考える理由を、具体的な事例を挙げながら全体で 600 字以内でまとめなさい。

(類題・筑波大学)

**【お名前： ，ご住所 ｝**


100 字


200 字


300 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


400 字


500 字


600 字

## 【第 4 講 (評価基準 : 100 点満点)】

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力 (U)	設問	10		設問の要求を満たしているか
	背景	10		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性 (L)	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理 (TR)	意見	10		序論に明確な論 (意見) が出ていること
	構成	10		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力 (A)	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。(重要度により減点数値を決定)

得点 :                    / 100 点

### 【第 5 講 例題】

「日本文化は世界の文化の中でも他に似た例を見ないほど特殊で独特な文化である」という考え方についてあなたは賛成ですか、それとも反対ですか。①「賛成」または「反対」の論を記した上で、②あなたがそう考える理由を、具体的な事例を挙げながら全体で 600 字以内でまとめなさい。

(類題・筑波大学)

【お名前： \_\_\_\_\_ , ご住所 \_\_\_\_\_ 】


100 字


200 字


300 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


400 字


500 字


600 字

## 【第 5 講（評価基準：100 点満点）】

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	10		設問の要求を満たしているか
	背景	10		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	10		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	10		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

得点：                    / 100 点



**【第 6 講 例題】**

近年、日本でもボランティア活動が盛んになってきています。社会におけるボランティア活動の役割と、ボランティア活動をする本人にとっての活動の意義の2点について、あなたの考えを500字以内で述べなさい。

(類題・広島大学)

**【お名前： ，ご住所 】**


100 字


200 字


300 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


400 字


500 字

## 【第6講（評価基準：100点満点）】

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	10		設問の要求を満たしているか
	背景	10		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	10		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	10		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の90%以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

**得点：**                      **／100点**

**【第 7 講 例題】**

地球規模での経済交流、文化交流が活発になるグローバル化社会で日本に求められる変化について述べよ (1,000 字以内)。

(類題・一橋大学)

**【お名前： ，ご住所 】【**


100 字


200 字


300 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


400 字


500 字


600 字


700 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


800 字


900 字


1,000 字

## 【第7講 (評価基準：100点満点)】

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力 (U)	設問	10		設問の要求を満たしているか
	背景	10		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性 (L)	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理 (TR)	意見	10		序論に明確な論 (意見) が出ていること
	構成	10		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力 (A)	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の90%以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。(重要度により減点数値を決定)

得点：                    / 100 点

**【第 9 講 例題】**

以下のテーマについて、あなた自身の考えを具体的に 800 字以内でまとめなさい。

テーマ : 豊かさの中の貧困  
(類題・聖路加看護大学)

**【お名前 : \_\_\_\_\_ , ご住所 \_\_\_\_\_ 】**


100 字


200 字


300 字




ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)

400 字


500 字


600 字


700 字


800 字

## 【第9講（評価基準：100点満点）】

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	10		設問の要求を満たしているか
	背景	10		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	10		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	10		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の90%以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

**得点：**                    **／100点**



ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


300 字


400 字


500 字


600 字

## 【第 10 講（評価基準：100 点満点）】

## タイトル（配点：10 点）

項目	細目	配点		評価条件
理解力（U）	設問	4		文章全体のまとめになっているか
表現力（A）	表記	2		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	2		正しい意味で語句を用いていること
	字数	2		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

## 意見論述（配点：90 点）

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	8		設問の要求を満たしているか
	背景	8		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	7		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	7		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

得点：                    / 100 点

## 【第 11 講 例題】

次の文章を読み、問いに答えよ。

問 1 100 字以内で要約しなさい。

問 2 文章の内容について 800 字以内であなたの考えを述べなさい。

### 《文章》

現代の家族はさまざまな点で変化している。先進国では、産業構造が変化し農村部から都市部へと人口流出が進んでいる。そして、形態的には核家族化と家族規模の縮小化が促されている。都市部においては夫婦と子ども 2 人という核家族が、今や日常的である。

家族のあり方に大きな影響を与えた要因は 2 つの方向から考えることができる。第 1 に、女性の社会進出である。第 3 次産業が盛んになることにより、女性の職場が拡大された。また、家庭電化製品やレトルト食品が普及したことも、女性の就労を促した。仕事を持つ主婦の数は昭和 58 年 (1983 年) 以降、専業主婦の数を上回っている。

日本の女性の就労パターンは、さまざまな学校を卒業した後に就職するが、結婚と出産で一度、仕事を辞めて家庭に入り、子どもから手が離れてから再び就労する M 字型のパターンであると指摘される。結婚したら家庭に入るといふ、戦後続いてきた日本女性の生き方と変わってきているのは、子育ての時期においても、子どもの預かり合いをしながら、学習や地域のいろいろな社会的活動に参加していることである。つまり、専業主婦でも、社会参加しているのが近年の特徴なのである。そして子どもに手がかからなくなると、多くの妻たちがパートタイマーとして再び職場に出る。「嫁いたら夫に従え」と教え込まれた戦前生まれの女性と違って、男女平等思想を身につけた戦後育ちは、自分の意見を口に出して主張し、行動できる世代である。このような女性の積極的な社会進出が家族に与えた影響は大きい。

現代の家族の変化に影響を与えている第 2 の大きな要因は、高齢化の問題である。寿命の伸びにともなって、60 代の子どもが 80 代、90 代の親の世話をしているいわゆる「老老介護」の例も珍しいことではなくなった。差し迫った老親の介護だけでなく、人生 80 年間でどう生きるかということが私たち一人一人が考えなければならない課題である。そして、この課題も、今後の家族のありかたと密接に関わってくるであろう。

【お名前 :

, ご住所

】

問 1


100 字

問 2


100 字


200 字


300 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


400 字


500 字


600 字



ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


700 字


800 字

【第 11 講（評価基準：100 点満点）】

問 1：要約（配点：14 点）

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	2		課題文を要約しているか
	資料	2		本文のキーワードを用いているか
論理性（L）	論理	2		筆者の論理展開からの逸脱がないこと
整理（TR）	構成	2		筆者の記述順序を踏襲していること
表現力（A）	表記	2		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	2		筆者の表現を加工した語が妥当であること
	字数	2		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

問 2：意見論述（配点：86 点）

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	7		設問の要求を満たしているか
	背景	7		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	10		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	10		具体的な事例を提示できていること
	平衡	10		多角的な考察ができていること
	一貫性	10		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	6		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	6		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	5		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

得点：                    / 100 点

**【第 12 講 例題】**

次のページの表は、ある年の日本人の成人男子・女子の平日の家事時間を表したものです。この表からわかることを読み取り、あなたの考えを述べなさい（全体で 800 字以内）。

《表》性・年齢別、平日の家事時間（平均時間）

	男子	女子
成人全体	32 分	4 時間 32 分
20 歳代	22 分	2 時間 50 分
30 歳代	32 分	6 時間 31 分
40 歳代	22 分	4 時間 52 分
50 歳代	24 分	4 時間 32 分
60 歳代	49 分	4 時間 30 分
70 歳以上	1 時間 07 分	3 時間 20 分

※注：家事時間とは、炊事・掃除・洗濯、買い物、子どもの世話、家庭雑事にかかった時間の合計である。

**【お名前： ，ご住所 】【**


100 字


200 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


300 字


400 字


500 字


600 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


700 字


800 字

## 【第 12 講（評価基準：100 点満点）】

## 表の読み取り部分（配点：10 点）

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	3		表の内容を要約しているか
	資料	3		表の特徴を読み取っているか
表現力（A）	表記	2		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	2		筆者の表現を加工した語が妥当であること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

## 意見論述（配点：90 点）

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	7		設問の要求を満たしているか
	資料	7		資料（表）内容を踏まえた発言になっているか
	背景	7		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	9		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	9		具体的な事例を提示できていること
	平衡	9		多角的な考察ができていること
	一貫性	9		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	7		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	7		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	4		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

得点：                    / 100 点

## 【第 13 講 例題】

次の《問題文》を読み、問 1 および問 2 に答えなさい。

問 1 筆者の主張を 150 字以内で要約しなさい。

問 2 筆者の主張を踏まえて 600 字以内で創造的思考と人間の関係について、あなたの考えを述べなさい。

### 《問題文》

人間の「こころ」の働きを考えると、2 つのレベルの「意識」を想定すると説明しやすい。第 1 に、目、耳、鼻などの感覚器官を通じて、外部環境の刺激や対象に気づくことである。これを意識 1 と呼ぼう。

第 2 に、対象に気づいていること（意識 1）に気づいていること、すなわち、意識 1 を意識の対象とすることもある。これを意識 2 と呼ぶ。

意識 1 は周辺に刺激や対象を必要とするが、意識 2 は時空を超えて生じうるものである。例えば、実際に花を見たときに生じる意識 1 は眼前に花を必要とするが、「そういえばあのとき自分は花を見ていたな」と回想する意識 2 は、目の前に花が存在しなくとも生じる。

意識 1 は他の動物も持つだろうが、意識 2 は言語やイメージ（映像など言語以外の情報処理）など、高度な創造的思考を操れる人間に特有のこころの働きといえよう。他の動物がそうした創造的思考活動ができないという裏づけはないが、身体に占める脳の割合、とくに言語やイメージを司る大脳新皮質の割合から考えて、人間が優位であることは論を待たないだろう。犬や猫が「そういえば、昨日の肉は味と食感が最高だったな」と言語やイメージを駆使して回想することは考えにくいのである。

こうした意識 2 による創造的思考は、人間社会に他の動物には見られない「進化」をもたらした。言語やイメージを駆使し、目の前に対象がなくとも、かつて意識 1 として仕入れた情報を自由に加工して、新たな事物を社会の中に、創り出してきたのである。

科学技術、文化遺産、社会制度など、あらゆる創造物は、人類の創造的思考の所産である。例えば、人類の走行速度は、どう頑張っても時速 40km にはならないが「もっと速く移動するにはどうしたらよいか」と方法論を模索し、その結果、車などを開発したのである。

しかし、人類の歴史を振り返ると、こうした創造的思考は自己矛盾を孕んでいることも事実である。さまざまな事物は、本来「こんなもの（こと）があったらよいだらう」と意図され創造されたが、結果的に人類自身、さらにはその棲家である地球環境に対して多大な負荷を与え「よくない」ものとなっているのである。車の開発は、人類に移動の利便性（よいこと）をもたらすとともに、事故、エネルギー枯渇、CO<sub>2</sub> 排出による地球温暖化（よくないこと）なども招いたのである。

(類題・慶應義塾大学)





ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


300 字


400 字


500 字


600 字

## 【第 13 講 (評価基準 : 100 点満点)】

## 問 1 : 要約 (配点 : 14 点)

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力 (U)	設問	2		課題文を要約しているか
	資料	2		本文のキーワードを用いているか
論理性 (L)	論理	2		筆者の論理展開からの逸脱がないこと
整理 (TR)	構成	2		筆者の記述順序を踏襲していること
表現力 (A)	表記	2		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	2		筆者の表現を加工した語が妥当であること
	字数	2		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。(重要度により減点数値を決定)

## 問 2 : 意見論述 (配点 : 86 点)

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力 (U)	設問	6		設問の要求を満たしているか
	資料	7		資料 (文章) 内容を踏まえた発言になっているか
	背景	6		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性 (L)	論拠	9		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	9		具体的な事例を提示できていること
	平衡	9		多角的な考察ができていること
	一貫性	9		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理 (TR)	意見	6		序論に明確な論 (意見) が出ていること
	構成	6		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力 (A)	表記	4		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。(重要度により減点数値を決定)

得点 :                    / 100 点

## 【第 14 講 例題】

次の《問題文 (英文)》を読み、下記の 2 つの問に答えなさい。

問 1 本文で “classroom collapse” (学級崩壊) に関係あるものとして述べられている 6 つの理由を日本語で箇条書きにきなさい。

問 2 英文で示される “classroom collapse” (学級崩壊) について、あなたの小学校時代の経験と関連づけながら、考えたことを日本語で述べなさい。(600 字以内)

### 《問題文》

It often starts when a single child won't stop talking. Then classmates join in, saying jokes or walking among the desks. Before long, the whole lesson is ruined. The Japanese call it “classroom collapse,” and see it as a big problem in the country's education system and a sign of unhappiness in young people. “This is a very serious problem,” said Yutaka Nabeshima, who is running an Education Ministry study of the problem.

Classroom collapse mostly takes place in elementary schools, where classes of 40 students spend the whole day with a single teacher. To people from other countries it may seem normal for kids to be noisy, but in Japan, where children are expected to be good without the teacher telling them, the problem is seen as very serious. Many people have different ideas about why classroom collapse happens. For example, some say the education system is too old, some say that the teaching methods are boring and others say parents are not strict enough with their children.

Ryoichi Kawakami, a teacher who has written a book on the problem, thinks it is because of declining respect for schools and teachers and says today's children cannot work well in groups.

Jiro Saito, a writer, said the pressure to do well at school has created a generation of children who are afraid of making mistakes. When children suddenly feel that the pressure is too much, the classroom collapses. “Whatever the teacher says, you hear kids say ‘yes,’ but in their hearts many of them are thinking, ‘That's not right’”, Saito said.

Many people say the Education Ministry needs to give students more freedom to study what they want. Others say it's time to tell parents to discipline their kids. “It's not just a problem of the schools--it's a problem of society as a whole,” Kawakami said. “We have to think again about what the school's role in society should be.”

(Adapted from *The Japan Times*)

（和訳）

それは、一人の生徒が話すのを止めようとしないうところから、しばしば始まる。そこで、複数のクラスメートが参加し、冗談をいったり机の間を歩いたりするようになる。しばらくすると、授業全体がメチャメチャになる。日本人はこうした実態を「学級崩壊」と呼ぶ。そして、学級崩壊を、国の教育システムにおける重大な問題であり、かつ若年者が抱える不幸の予兆であるとみなしている。「これはとても深刻な問題です」とナベシマ・ユタカ、文部省当該問題担当者は言った。

学級崩壊は、そのほとんどが小学校で起こっている。そして、その小学校とは、40人の生徒のクラスが、一人の先生とともに一日中を過ごすといったところだ。他国から来た人々にとっては、子どもたちがうるさいというのは普通のことと映るかもしれない。しかし、日本では、先生が言うことなしに（先生の指示なしに）子どもたちが良い子であることを期待されるので、その問題（学級崩壊）はとても深刻に見られている。多くの人々が、学級崩壊がなぜ起こるのかについて異なる考えを持っている。たとえば、教育システムが古すぎると言う人もいるし、教授方法が退屈だと言う人もいるし、親が子どもに対して十分に厳しくないと言う人もいる。

カワカミ・リョウイチ（この問題について本を書いてきた教師）は、次のように考えている。すなわち、学級崩壊は学校や先生への敬意が減退したことによるものだと。そして、今日の子どもたちは集団でうまく作業ができないとも言っている。

サイトウ・ジロウ（著述業）は、次のように発言した。つまり、学校でうまくやろうというプレッシャーが、間違いをすることを恐れる子ども世代を形成してきたと。子どもたちが、プレッシャーが大きすぎると突然感じたとき、学級は崩壊するのだ。「先生がたとえなんと言おうと、子どもが『はい』というのをあなたは聞きます。しかし、こころのなかでは多くの子どもたちは次のように考えています。『それは正しくない』って」。サイトウは、そう言った。

多くの人々は、次のように言う。文部省は、生徒たちがやりたいことを学ぶ自由をもつと与える必要があると。また、他の人々は次のようにも言う。すなわち、そろそろ親たちに自分の子を躱けるように言うべきときだと。「それは、学校だけの問題ではない——社会全体の問題だ」とカワカミは言う。そして付け加える。「わたしたちは、社会のなかでの学校の役割はいかにあるべきかについて、考え直さなければならない」と。（*The Japan Times* 参照）

（類題・岩手県立大学）

【お名前： \_\_\_\_\_ , ご住所 \_\_\_\_\_ 】

問 1

- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_

問 2


100 字


200 字


300 字

ULTRA 小論文基礎編 (問題&答案用紙)


400 字


500 字


600 字

【第 14 講 (評価基準 : 100 点満点)】

問 1 : *classroom collapse* に関する原因 (配点 : 2 点 × 6 個 = 12 点)

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。(重要度により減点数値を決定)

問 2 : 意見論述 (配点 : 88 点)

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力 (U)	設問	7		設問の要求を満たしているか
	資料	7		資料 (文章) 内容を踏まえた発言になっているか
	背景	7		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性 (L)	論拠	9		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	9		具体的な事例を提示できていること
	平衡	9		多角的な考察ができていること
	一貫性	9		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理 (TR)	意見	6		序論に明確な論 (意見) が出ていること
	構成	6		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力 (A)	表記	4		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	5		語彙の使用が妥当であること
	修辞	5		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	5		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。(重要度により減点数値を決定)

得点 :                    / 100 点

**【第 15 講 例題】**

次のページ以降の《問題文》を読んで、以下の問 1 および問 2 に答えなさい。

問 1 《問題文》において、筆者は科学技術の発達をめぐってどんな意見の対立があると考えているかを 150 字以内で述べなさい。

問 2 《問題文》の文末の下線部に関して「科学技術の発達を社会が制御できるか」ということを論点として、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。なお、《問題文》全体の結論になるようにまとめること。

**《問題文》**

20 世紀から 21 世紀初頭にかけて地球規模で急激な人口増加があった。しかし、科学技術により食糧生産が急速に増加し、急激な人口増加を支えていった。ただし、近年ではこうした方法による食糧生産の増加にも、限界が近づいていると考えられる。農地の拡大の 1 つとして行なわれてきた灌漑事業が砂漠化を促しているし、既存の農地についても、長期にわたる化学肥料と農薬の使用によって塩害など、かえって地力が低下した農地が拡大しており、これ以上の収穫量の増大が望めなくなってきたといわれている。そして、なによりも、それらが環境や人間の生命に与える悪影響が明確なものとなってきた。

ところが、こうした問題も、やはり科学技術の発展が解決するとみなす立場もある。そうした立場から、問題の解決に貢献するとして期待されている最新の技術が、遺伝子操作あるいは遺伝子組換え技術である。これは、ある生物から目的とする有用な遺伝子を取り出し、改良しようとする生物に導入することで、その生物がもっていなかった新しい性質を付与する技術である。日本にも農薬を使わない遺伝子組み換え大豆やトウモロコシを積極的に輸入していたことがある。この技術は、それまでの品種改良が超えられなかった種の壁を超えて遺伝子を導入できるため、農作物の改良の範囲を大幅に拡大し、世界の食糧問題や環境問題の解決に大きく貢献できるというわけである。

しかし他方で、この技術によって生産された農作物の安全性や環境への影響を問題視する声も強い。遺伝子組換え食品の安全性は証明されているとする見解に対しては、遺伝子組換え技術は数十年足らずの歴史しかなく、その長期的な影響はわかっていないという反論がある。また、この技術によって害虫駆除や除草のための農薬散布の回数と使用量が削減でき、環境破壊を抑制できるという見解に対しても、遺伝子操作による新品種の創出は種の壁を超えて行なわれることから、生物の進化や従来品種改良とは決定的に異なっているため、生態系のバランスを破壊してしまう危険性があるという指摘がある。

人口増加と食糧問題の深刻さを考えると、遺伝子操作という技術の重要性を否定することは難しいように思えるけれども、だからといって安全性の問題を軽視することもできない。そもそも安全性の調査は、その時点で人間が想定しうる範囲内で実施するものであり、想定した範囲内で安全性が証明されたとしても、その範囲外でも安全であると断定することはできないのである。あるいは、実験室では専門家の管理の下におかれていたために安全であったものが、産業化され広く普及していくなかで予想外の結果をもたらすこともあ



る。実際、安全であるとされていた技術が思わぬ危険性をはらんでいたことが後になって明らかになるという例は、過去に少なからず存在する。

新しい技術が従来にない画期的なものであればあるほど、社会に広く普及してしまっ  
てから危険性が明らかになった場合、その弊害を除去するために長い年月と莫大な費用が必  
要となり、あるいは人間の生命をも犠牲にしてしまう可能性がある。こうした懸念から、  
科学技術は、その発展を制御する必要があるという主張が支持を集めるようになってきて  
いる。すなわち、科学技術の固有の論理にゆだねているだけでは、科学技術はむしろ社会  
に困難や混乱をもたらしかねないほどの速度で発達する可能性がある。それゆえ、社会が  
その成果を無理なく安心して受け入れられる速度まで、社会の側が科学技術の発達を制御  
しなければならないというのである。

（類題・宮城教育大学、慶應義塾大学）



問 2


100 字


200 字


300 字


400 字

## 【第 15 講（評価基準：100 点満点）】

## 問 1：説明（配点：18 点）

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	3		科学技術についての意見の対立をまとめているか
	資料	3		本文のキーワードを用いているか
論理性（L）	論理	3		筆者の論理展開からの逸脱がないこと
整理（TR）	構成	3		筆者の記述順序を踏襲していること
表現力（A）	表記	2		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	2		筆者の表現を加工した語が妥当であること
	字数	2		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

## 問 2：意見論述（配点：82 点）

項目	細目	配点	得点	評価条件
理解力（U）	設問	6		設問の要求を満たしているか
	資料	6		資料（文章）内容を踏まえた発言になっているか
	背景	6		進む学部を目指す問題意識が示されているか
論理性（L）	論拠	9		意見に対して論拠が明示されていること
	具体性	9		具体的な事例を提示できていること
	平衡	9		多角的な考察ができていること
	一貫性	9		論述の中に矛盾が含まれていないこと
整理（TR）	意見	6		序論に明確な論（意見）が出ていること
	構成	6		序論・本論・結論の体裁になっていること
表現力（A）	表記	4		誤字・脱字・略字がないこと
	語彙	4		語彙の使用が妥当であること
	修辞	4		説得力につながる言い回しで表現できていること
	字数	4		指定字数の 90% 以内で記述できていること

※答案中に上記の項目に当てはまらない箇所があったときには減点評価してください。（重要度により減点数値を決定）

得点：                    / 100 点

---

---

ULTRA 小論文・基礎編  
（問題・解答用紙・評価基準）

編集：クロイワ正一

発行：ヘルメス株式会社

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿源ビル 5F

TEL：03-3363-1881 Fax：03-3369-3469

Web：http://www.hms.bz mail：info@hms.bz

---

---

※本著作に掲載されている内容の著作権（複製権、翻訳権、上映権、譲渡権、公衆送信権）は、ヘルメス株式会社が保有します。本教材の全部、または一部を無断で複写複製（コピー）することを禁じます。